

翔

2009 April No.197
百万石蝶談会



石川県輪島市から中国浙江省へ移動したアサギマダラ

日吉芳朗・日吉南賀子

2006年8月6日に輪島市鉢伏山で筆者の1人日吉南賀子がマークしたアサギマダラが、2006年10月14日、中国上海の南西約100kmの浙江省平湖市（ピンフー）で再捕獲されていたとの情報が、2008年12月末日に、大阪市立自然史博物館の金沢 至氏へもたらされた。このことによって、アサギマダラが日本から中国大陆へ移動したことが初めて確認された。

高洲山から鉢伏山に抜ける林道の鉢伏山出口付近に、わずか15mばかりの木陰があり、2006年は、ここに咲く10本に満たないヨツバヒヨドリの花で、8月3日には52頭、4日には60頭、6日には62頭にマークしている。これらを含め7月26日から9月15日にかけて鉢

伏山と高洲山で324頭にマークしているが、再観察の連絡は、これまで1頭もなかった。

今回の報告にあたり、再捕獲していただいた朱 建青氏、再捕獲の情報を連絡していただいた陳 建志氏並びに、金沢 至氏の各氏に厚くお礼申し上げる。

《個体情報》

標識：石ひよし 078N 性別：♂ 前翅長：57mm

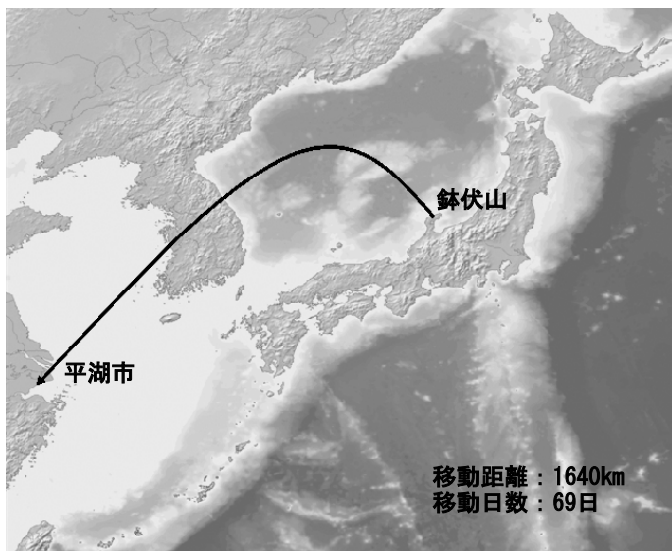
《移動情報》

標 識 地：石川県輪島市鉢伏山 再捕獲地：浙江省平湖市乍浦鎮九龍山森林公園

標識日時：2006年8月6日 7:24 → 再捕獲日：2006年10月14日

標 識 者：日吉南賀子 再捕獲者：朱 建青

《ひよし よしろう・ながこ 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》



白山市山毛櫟尾山でギフチョウ探し

松 井 正 人

2008年5月3日、白山市一里野に車を止めて、尾添川の吊り橋を渡り、中宮発電所の導水管に沿って階段を上る。山の中に大きな貯水池が現れ、ここからようやく登山道らしい山道となる。長老ブナを右に見ながら進むと、カタクリは既に終わりがけ。ギフチョウとカンアオイの仲間を気にしながら標高をかせぐと、900m付近にある杉の植林地付近ではカタクリが満開だった。枯葉が見えない程にカタクリが埋め尽くしている。木々の葉はこれから開こうとするところで、春の柔らかな日差しがカタクリを照らし、さながらピンクの絨毯であった。それより上は、雪が解けたばかりのようで草が芽吹いていず、窪地には雪が残っていた。

ピンクの絨毯まで戻り、カンアオイの仲間を探しながら、ギフチョウの飛来を待ったが、ついに現れず、カンアオイの仲間も見つからなかった。

山毛櫟尾山は、ぶなおやまと呼び、1995年5月7日には標高800m付近でギフチョウが1頭目撃され（松井、1999）、尾添川を挟んだ対岸のブナオ山観察舎においても1992年4月29日にギフチョウ1頭が目撃されている（松井、1999）。ブナオ山観察舎周辺にはウスバサイシンがあり、ギフチョウの卵を探したが、この日も見つからなかった。



山毛櫟尾山：肩のような所にあるスギ植林地に取り囲まれた雑木林のカタクリが満開だった

《 参考文献 》 松井正人(1999)手取川水系尾添川のギフチョウ. 翔(137):2.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

石川県で6月にアサギマダラの交尾を観察

中村明男・松井正人

筆者の1人の中村明男は、白山市瀬女高原の標高400m付近で6月2日にアサギマダラの交尾を観察した。石川県内では、アサギマダラの交尾は秋の南下移動時期となる9月に良く観察されているが、北上移動時期の6月に観察されたのは、初めてと思われる。

2006年6月2日 石川県白山市瀬女高原 中村明男 交尾を観察

石川県では、5月に入るとアサギマダラが観察されるようになり、メスのほとんどは既交尾であるが、希に未交尾個体も観察されていることから、北上移動時期における交尾が県内でも観察されると思われていた。

《なかむら あきお 920-2331 白山市瀬戸西31-1》

《まつい まさと 920-3121 金沢市大場町東871-15》

石川県白山市でヒメシジミを採集

松井正人

石川県白山市中宮スキー場最上部の尾根でヒメシジミを採集したので報告する。石川県内のヒメシジミの記録は、手取川本流の旧白峰村市ノ瀬以奥の溪流部と、手取川支流の尾添川水系の旧尾口村三又発電所以奥の溪流部からわずかに記録されているに過ぎない。今回採集したのは、三又発電所から5km程下流にある中宮集落背後の尾根であり、右に尾添川、左に瀬波川が見える場所である。採集個体は、かなり痛んでおり、溪流部からの吹き上げ個体と思われるが、出発点の可能性は尾添川、瀬波川、どちらも考えられる。



2008年7月13日 石川県白山市中宮スキー場（標高1000m） 1♂ 松井正人

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

2006年石川県のアサギマダラマーキング概要

松 井 正 人

2006年の石川県におけるアサギマダラのマーキング状況を集計した。標識者情報は「あいうえお」順とし、標識情報は月別場所別に標識頭数をまとめ、再捕獲情報は再捕獲日順に並べた。

5月～6月に行われる海岸でのマーキングは軌道に乗り、マーキング数は1,000頭に近づいた。輪島では日吉芳朗・南賀子ご夫妻が、姫島からの飛来個体を3頭再捕獲されたほか、能登半島内での移動が11例観察された。

鉢伏山では、新たなマーキングポイントが見つかり、日吉ご夫妻がマーキングされた個体が中国本土で再捕獲され、これが日本－中国間の移動の初記録となった。

宝達山では橘 英子さんらを中心に、一般参加のマーキング会が度々開かれたほか、堀孝治・千恵子ご夫妻、宇野弘子、金川寿子、坂本艶子、中田瑞保、松木隆也さんらも精力的にマーキングを行い、8月にマーキングした個体が北上先で再捕獲されたほか、再捕獲が相次いだ。

手取川ダム周辺の荒谷では、中村明男、尾張勝也さんらが中心となってマーキングが行われ、姫島からの北上個体を再捕獲したほか、放蝶個体が与那国島などで再捕獲され、活躍が目立った。

刈安山周辺では、南出 洋さんらがマーキングを始め、関本邦晴さんは大町市からの南下個体を再捕獲された。

■2006年標識者情報（標識者数：99人）

赤池 昌紀、荒木 良、新 栄子、石浦 恵子、井野口 真一、井野口 侑紀、上杉 日向子、宇野 弘子、大路 剛生、大路 真央、太田 匠哉、太田 萌瑛、太田 怜苑、太田 翔吾、岡本 巧、奥 芳江、尾張 勝也、金川 寿子、金津 智恵子、川田 外吉、木谷、北野 留衣、伐分 ゆな、伐分 恵美子、伐分 健士、窪田 宣和、黒田 泉、小池 明聖、小旗 友栄、小林 真樹、小林 真樹、小松 松枝、小松 末乃、才田 侑佳、坂井 節子、坂本 艶子、坂本 洋子、坂本 和也、佐々木 良日、清水 峻汰、末森 潤、関本 邦晴、高木 聖彦、高田、橘 英子、橘 ひかり、橘 幸輝、鶴尾 麻衣、寺内 芳江、遠田 勝良、利倉 有紀、利倉 茉琳、中永 紗瑠、中永 翔己、中田 瑞保、中西 ひなた、中村 明男、西村 喜久雄、林 宏初、林 美貴子、林 芳紀、日吉 南賀子、日吉 芳朗、広橋 賢、福士 洋平、福山 美恵子、藤原 妙子、堀 孝治、堀 千恵子、松井 俊浩、松井 正人、松栄 美佑、松尾 正則、松木 隆也、松田 香代子、松田 詩織、松田 真実、松田 美雪、松田 豊次朗、松田 龍二、南出 洋、村井 智香子、森 公輝、森 友莉香、森 遥香、柳橋 里咲、矢野 量子、山我 隆太、山田 啓次、山前 ひろあき、山前 安輝、山前 雅裕、山前 圭司、山前 圭佑、山前 地史、吉村 昌洋、渡辺 レヲ子、渡辺 栄光、渡辺 和夫

■2006年標識情報（標識数：2,695頭）

	標 識 地	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	計
1	珠洲市狼煙海岸	73	17					90
2	珠洲市川浦海岸	43	14					57
3	珠洲市木の浦海岸	12						12
4	珠洲市高屋海岸	43	18					61
5	珠洲市小浦出海岸	11	3					14
6	珠洲市鰐崎	50	24					74
7	珠洲市大崎浜	51	29					80
8	珠洲市片岩海岸	7	21					28
9	珠洲市仁江海岸	10	9					19
10	輪島市宝立山			9	7	7		23
11	輪島市大川浜	2	5					7
12	輪島市鉢伏山				271			271
13	輪島市高洲山				53			53
14	輪島市袖ヶ浜	34	152					186
15	輪島市門前町五十洲海岸	1						1
16	輪島市門前町吉浦海岸	1						1
17	輪島市門前町深見海岸	1	2					3
18	輪島市門前町鹿磯海岸	4	36					40
19	志賀町鹿頭海岸	24	27					51
20	志賀町赤崎海岸	17	38					55
21	志賀町増穂浦	50	13					63
22	志賀町大島海岸	6						6
23	志賀町甘田海岸	12	30					42
24	羽咋市一宮海岸	6	17					23
25	宝達志水町宝達山			4	1	1,024		1,029
	能登計	458	455	13	332	1,031	0	2,289
26	かほく市白尾海岸		1					1
27	内灘町内灘海岸		10					10
28	金沢市医王山			65				65
29	金沢市専光寺浜		30					30
30	能美市山口海岸	4	1					5
31	白山市荒谷			7	6	267		280
32	加賀市刈安山			4		1	4	9
33	加賀市栢野		6					6
	加賀計	4	48	76	6	268	4	406
	総 計	462	503	89	338	1,299	4	2,695

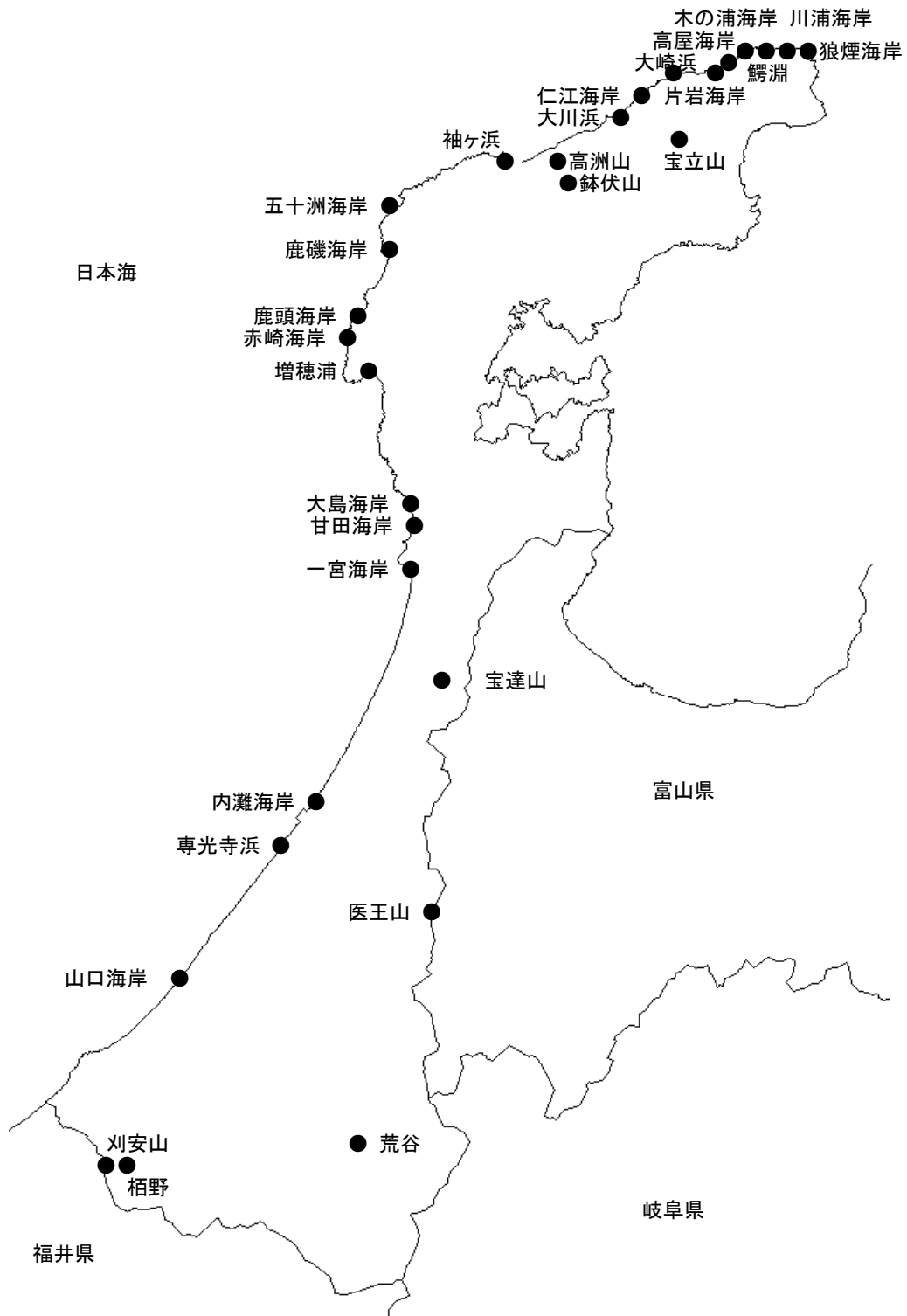


図-1. 2006年の主な標識地点

■2006年再捕獲情報（再捕獲数：28頭）

再捕獲距離10km以上の記録

番号	標識	性別	標識日	標識地	標識者	再捕獲日	再捕獲地	再捕獲者	移動距離	日数
1	石ひよし 003	♂	5/25	石川県 輪島市 大川浜	日吉芳朗	5/27	石川県 志賀町 鹿頭海岸	松井正人	46km	2日
2	IMM 037 マスホ	♂	5/20	石川県 志賀町 増穂浦	松井正人	5/31	石川県 珠洲市 大崎浜	松井正人	59km	11日
3	IMM 001 アマダ	♂	5/20	石川県 志賀町 甘田海岸	松井正人	6/3	石川県 輪島市 鹿磯浜	松井正人	36km	14日
4	石ひよし 017	♂	5/27	石川県 輪島市 袖ヶ浜	日吉芳朗	6/3	石川県 輪島市 鹿磯浜	松井正人	19km	7日
5	大分ヒメ SC 065 5/15	♂	5/15	大分県 姫島村 みつけ海岸	中城信三郎	6/4	石川県 輪島市 袖ヶ浜	日吉芳朗	625km	20日
6	IMM 412 のろし	♂	5/31	石川県 珠洲市 狼煙海岸	松井正人	6/4	石川県 志賀町 増穂浦	松井正人	69km	4日
7	IMM 329 たかや	♂	5/31	石川県 珠洲市 高屋海岸	松井正人	6/4	石川県 志賀町 赤崎海岸	松井正人	65km	4日
8	IMM 420 のろし	♂	5/31	石川県 珠洲市 狼煙海岸	松井正人	6/4	石川県 志賀町 赤崎海岸	松井正人	71km	4日
9	IMM 313 こうら	♂	5/31	石川県 珠洲市 小浦出海岸	松井正人	6/4	石川県 志賀町 赤崎海岸	松井正人	64km	4日
10	IMM 409 のろし	♂	5/31	石川県 珠洲市 狼煙海岸	松井正人	6/4	石川県 珠洲市 大崎浜	松井正人	12km	4日
11	IMM 347 きのうら	♂	5/31	石川県 珠洲市 木の浦海岸	松井正人	6/4	石川県 輪島市 袖ヶ浜	日吉芳朗	35km	4日
12	IMM 299 おおさき	♂	5/31	石川県 珠洲市 大崎浜	松井正人	6/4	石川県 志賀町 甘田海岸	松木隆也	71km	4日
13	ヒメ SRS2733 5/21	♂	5/21	大分県 姫島村 みつけ海岸	栗田昌裕	6/6	石川県 輪島市 袖ヶ浜	日吉南賀子	625km	16日
14	ヒメ R.Y-2 6/1	♂	6/1	大分県 姫島村 みつけ海岸	山下莉奈	6/10	石川県 輪島市 袖ヶ浜	日吉芳朗	625km	9日

番号	標識	性別	標識日	標識地	標識者	再捕獲日	再捕獲地	再捕獲者	移動距離	日数
15	ほうだつ レオ 8/5	♂	8/5	石川県 宝達志町 宝達山	太田怜苑	8/29	群馬県 片品村 東小川丸沼	金子順一郎	230km	24日
16	ヒメ KK560 6/10		6/10	大分県 姫島村 みつけ海岸	木野村孝一	8/31	石川県 白山市 荒谷	中村明男	538km	82日
17	TSN 220	♂	9/3	富山県 立山町 水谷	西尾 梓	9/16	石川県 宝達志町 宝達山	宇野弘子	70km	13日
18	TANBA HM170 8/2	♂	8/2	群馬県 沼田市 玉原スキー場	善養寺聡彦	9/18	石川県 宝達志町 宝達山	堀 孝治	200km	47日
19	ラララ 白山182 9/21		9/21	石川県 白山市 荒谷	中村明男	9/28	京都府 宇治田原町 鷺峰山	藤野適宏	170km	7日
20	のっぺ HTN386 9/24	♂	9/24	長野県 大町市 平中綱	西川尚実	9/29	石川県 加賀市 刈安山	関本邦晴	140km	5日
21	ほうだつ uno163 9/16	♂	9/16	石川県 宝達志水町 宝達山	宇野弘子	10/12	鳥取県 伯耆町 榎水高原	松岡嘉之	340km	26日
22	石ひよし 078N	♂	8/6	石川県 輪島市 鉢伏山	日吉南賀子	10/14	中国浙江省 平湖市 九龍山森林公園	朱 建青	1,640km	69日
23	ほうだつ uno185 9/16	♂	9/16	石川県 宝達志水町 宝達山	宇野弘子	10/25	徳島県 鳴門市 妙見山	天野由美子	350km	39日
24	ラララ 白山65 9/21	♂	9/21	石川県 白山市 荒谷	尾張勝也	10/25	長崎県 佐世保市 弘法岳	伊藤雅男	720km	34日
25	ほうだつ こうじ259 9/18	♀	9/18	石川県 宝達志水町 宝達山	堀 孝治	11/1	高知県 室戸市 室戸スカイライン	中谷康彦	460km	44日
26	ほうだつ こうじ215 9/18	♂	9/18	石川県 宝達志水町 宝達山	堀 孝治	11/5	鹿児島県 喜界島 川嶺	前島博文	1,140km	48日
27	ほうだつ こうじ211 9/18	♂	9/18	石川県 宝達志水町 宝達山	堀 孝治	11/24	鹿児島県 喜界島 滝川林道	濱川孝久	1,140km	67日
28	ラララ 白山117 9/15	♂	9/15	石川県 白山市 荒谷	中村明男	11/28	沖縄県 与那国島 宇良部	志堅原健	1,850km	74日

会員の動き・しゃばの動き

■金沢の日照時間は過去3番目

金沢地方気象台によると、昨年12月1日から今年2月27日までの日照時間は、各地で平年の最大1.5倍になり、金沢では観測が始まった1892年から3番目に長かった。日照の長さは虫の越冬には好条件に働くと考えられ、ギフチョウの初観察日と比較してみたが、日照の順位は、2007年、1988年、2009年、初観察の順位は、1990年、1992年、1989年となり関係が無かった。天気が良いと夜間は冷え込む事を忘れていた。

■広がるアサギマダラのマーキング

昨年、白山室堂でマーキングされたアサギマダラが宝達山で再捕獲された。これがきっかけとなったのか、白山の自然解説指導員がマーキングに取り組む計画を立てている。アサギマダラのマーキング調査は実績があり、自然解説指導員の取り組みでもあるので、採集許可はもらえるらしい。

■ギフチョウ観察に出かけたものの

今年のギフは早いと、3月5日に観察に出かけた細沼氏、花咲くマメザクラに心も踊ったが、花粉の飛散も絶好調で、しゃぼつく眼では姫は探せず泣く泣く帰路についた。

■ギフチョウはいつ飛ぶか

これまでで最も早くギフチョウが飛んだのは1990年3月10日。今年の暖かさもなく、記録更新かと思われていたが、10日を過ぎても観察されていない。世間では桜前線の北上が早いと騒がれ、気象庁4月1日、気象協会3月29日、ウェザーニューズ4月4日と、金沢の開花を予想している。

これまでの観察から、初飛は開花予想の約2週間前となり、今年は、15日～22日あたりに初飛が観測されそう。

■松本和馬氏、金沢に来たる

3月12日、蝶談会発足時のメンバーで翔創刊号から3号までの編集を手がけた松本和馬氏が、虫の話をしに金沢にやってきた。懐かしの金沢、あと1週間講演会が遅ければ、旧知のギフチョウに会えたかもしれない。

■飼育地獄に陥った細沼氏

ズラリと並んだ飼育容器の中は、すべてクロコムラサキ。幼虫も多いが産地数の多さが飼育容器の数を増やし、飼育地獄の原因を作っている。けれど、氏は「これが良い」とのたまう。

■1000円で高速が乗り放題

シーズンともなると各地の採集地へ出掛ける高速代金がかさみ、3人で出かければ、車内の居住性も良く代金も三分の一になると、同行の氏を募っていたが、4月からは休日が千円で乗り放題になる。一人でもどこへでも行けちゃうが、ETC車に限る。

■春の日差しに包まれて

今日こそはと思いながら通いつめた初飛観察、お天気の日には欠かさず出掛けていた。春の日差しは日に日に強まり、3月17日には「もういいよ」と号令でもかかったのか、待ちわびた細沼氏の前をギフチョウがフワリと舞った。

■初夏の日差しの中で

3月18日は気温がグングン上昇し、暖かさを乗り越えた5月下旬の気温となり、各

地で一齐にギフが飛び出した。それいけと
出動したS氏は、おきまりのコースを巡っ
て2桁を観察したが、暑さに参ったらしい。

■ギフチョウ前線、吉野谷を北上中

18日に続いて初夏を思わせるバカ陽気にな
った19日、ギフチョウ前線は一挙に手取
川をさかのぼり、初飛からまだ2日しか
経ってないのに、旧吉野谷村で観察された。

■トゲナナフシの孵化はいつ頃か

ナナフシのかわいい幼虫は、4月下旬か
ら観察されているが、トゲナナフシだけは、
6月中旬以降に観察されている。トゲナナ
の孵化も4月下旬頃と思われるが、かわい
い初齢幼虫にトゲが有るのか無いのか観察
してみたい。

■ツマグロの越冬地はどこまで北上したか

小松市では2002年から越冬幼虫が観察さ
れているが、それ以北では十分な調査がさ
れていない。街にはパンジーの花が揺れる
時期となり、そろそろ終齢幼虫が見つかり
出す頃。金沢周辺でも、庭のスミレから背

中に赤い筋が入ったトゲトゲの幼虫が見つ
かるような気がする。

■ 例 会 の 記 録 ■

2月5日(木) 浅地メッキ2階にて、午
後8時から開催。

話題の中心は「太田の崖」。崖と言っ
ても羽咋川の三日月湖を指し、水鳥などが豊
富なことから鳥獣保護区に指定されている。
希少種のマダラナニワトンボも観察され
ているが、羽咋市の市街地整備で徐々に
狭められ、最近になってブルドーザーが
入ったとの情報もある。

その他の話題は、ツマグロヒョウモンの
越冬地はどこまで北上したか、越冬卵と越
冬幼虫がいっぱい、タツミ、ナカノと言え
ば標本箱、今年の採集行はもう12回を越え
た、日吉コレクションと指田コレクション
などなど。

参加は、浅地、松井、細沼、井村、山岸、
長田の6人。

■ ■ 表紙デザイン：小幡英典 ■ ■

目 次

日吉芳朗・日吉南賀子：石川県輪島市から中国浙江省へ移動したアサギマダラ	1
松井正人：白山市山毛櫨尾山でギフチョウ探し	2
中村明男・松井正人：石川県で6月にアサギマダラの交尾を観察	3
松井正人：石川県白山市でヒメシジミを採集	3
松井正人：2006年石川県のアサギマダラマーキング概要	4
編 集 部：会員の動き・しゃばの動き	9

翔 197 号

Tobu 2009年4月10日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

<http://homepage3.nifty.com/100man/>

☎920-3121

☎076-258-2727

郵便振替

00750-8-562

印刷

小西紙店印刷所

